

火山噴火予知連絡会 第3回霧島山部会 議事概要

1. 部会の概要

日 時 : 令和元年 12 月 3 日 (火) 13:30~17:10

場 所 : 気象庁地震防災対策強化地域判定会室 (気象庁 2 階)

委 員 : 鍵山部会長、上田、大湊、加藤、木川田、齋藤、篠原、中尾、
畑中、森

学識経験者 : 田島

2. 議事概要

各委員からのこれまでの観測及び各種解析結果の報告をもとに、霧島山の火山活動の検討を行った。概要は以下のとおり。

○新燃岳、えびの高原 (硫黄山) 周辺、及び御鉢の火山活動について、以下のとおり評価をとりまとめた。

- ・新燃岳では 2018 年 6 月 28 日以降、噴火は観測されていないが、2019 年 11 月 17 日から 18 日にかけて新燃岳火口直下を震源とする火山性地震が一時的に増加し、火山活動が高まった状態となっている。
- ・えびの高原 (硫黄山) 周辺では、活発な噴気活動が続いているものの、火山性地震は概ね少ない状態で経過し、硫黄山近傍の GNSS 基線の伸びは停滞もしくはわずかに収縮しており、噴火の兆候は認められない。
- ・御鉢の火山活動には特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。
- ・霧島山深部には、これまでにマグマが蓄積されていると考えられ、広範囲の地震活動も続いていることから、火山活動の推移を引き続き慎重に監視する必要がある。

○地殻変動等から推定される活動領域と霧島山の火山活動の関連について、以下の観点について意見交換を行った。

- ・GNSS 等の地殻変動や地震活動等の再確認による、霧島山全域における火山活動の全体像
- ・地殻変動等から推定される活動領域と、周辺の応力場や構造等との関連

3. 今後の予定

- ・部会においてとりまとめた検討結果を、第 145 回火山噴火予知連絡会に部会長が報告。
- ・各機関の観測結果や計画について、引き続き情報共有。
- ・霧島山の火山活動について定期的に検討するとともに、火山活動に急な変化があった場合は、部会を開催するなど、臨機に火山活動の評価を実施。

火山噴火予知連絡会 第3回霧島山部会(令和元年12月3日)

出席者名簿

部会長	鍵山 恒臣	京都大学 名誉教授
委 員	上田 英樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長
"	大湊 隆雄	東京大学 地震研究所 教授
"	加藤 孝志	気象庁 地震火山部 火山課長
"	木川田喜一	上智大学 理工学部 教授
"	齋藤 誠	気象庁 気象研究所 火山研究部長
"	篠原 宏志	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 首席研究員
"	中尾 茂	鹿児島大学 大学院理工学研究科 教授
"	畑中 雄樹	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理地殻活動総括研究官
"	森 俊哉	東京大学 大学院理学系研究科 准教授
学識経験者	田島 靖久	日本工営(株) 中央研究所 総合技術開発第2部 担当課長

(11名、五十音順)